

白井市地域公共交通網形成計画の令和7年度(最終)実績

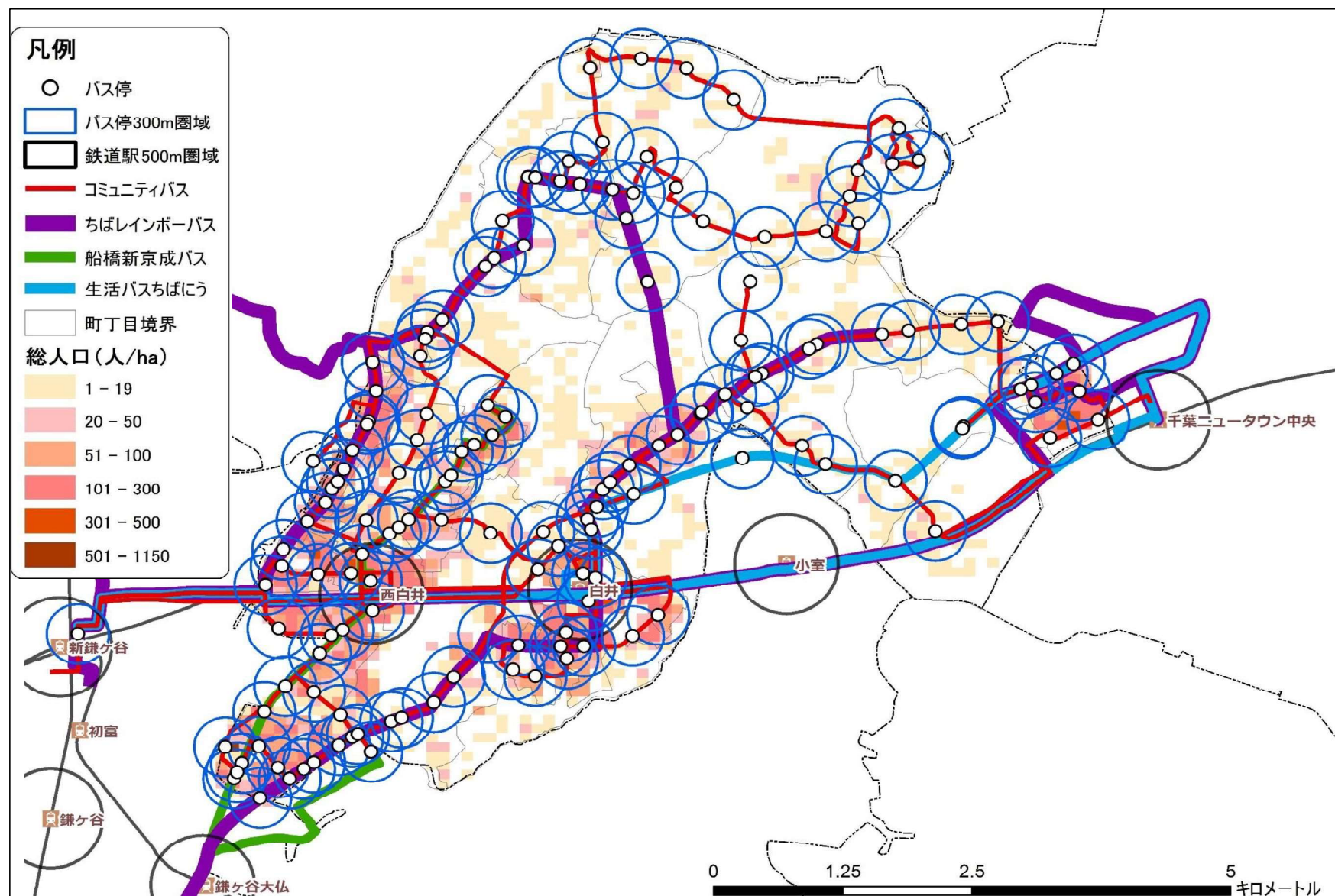
1 「計画目標」の達成状況

計画目標	指標	目標値	目標値に対する実績値				達成状況	備考
			策定時(H30)	R5年度	R6年度	R7年度		
1 ネットワークの拠点となる交通結節点の整備	交通結節点の整備数	3箇所 (白井駅・西白井駅・工業団地)	2箇所 (白井駅・西白井駅)	2箇所 (白井駅・西白井駅)	2箇所 (白井駅・西白井駅)	2箇所 (白井駅・西白井駅)	不達成	達成/不達成は、例えばベンチの設置といった具体的事業の有無で判定しました。
2 公共交通の人口カバー率の確保	公共交通(鉄道・バス)による人口カバー率	95.5%	89.0%	95.5%	95.5%	95.5%	達成	人口カバー率＝公共交通カバーエリア(駅半径500m・バス停半径300m)内人口÷総人口 ・人口:前年度末現在の100mメッシュ人口データによる
3 公共交通の利用者の確保	(バス)市内運行系統の年間利用者数※1	100万人/年	127万人/年	86万人/年※2	73万人/年※2	74万人/年	不達成	(※1) 1万人未満四捨五入 (※2) 前回報告値(R5: 78万人、R6: 64万人)に誤りがありました。お詫びして訂正致します。
	(鉄道)市内駅の年間利用者数※1	350万人/年	408万人/年	403万人/年	422万人/年	436万人/年	達成	
4 公共交通利用促進活動の実施及び強化	公共交通利用促進事業の取組項目数	8項目以上 (19項目中)	3項目	10項目	12項目	12項目	達成	事業3～7に含まれる取組を対象(内訳は『2「実施事業」の取組状況』のとおり)

<総括(要点)>

計画目標1	▪何をもって整備とするのかを計画内で示せておらず、体系的な事業実施に至らなかった。 →新計画(地域公共交通計画)では、目的・達成指標を意識し、各施策を組み合わせ効果を最大化するイメージを共有しながら進める。
計画目標2	▪大半の市民に最低限の公共交通は提供できているが、公共交通機関の利便性に対する市民の満足度は低いまま。 →新計画では、利用回数、収支率、市民満足度等を達成指標として、交通ネットワーク再編等の事業を進める。
計画目標3	▪鉄道利用者は堅調に回復 ▪バス利用者は減少が続き、目標値を大幅に下回ったが、下げ止まりが見えてきている。 →新計画期間中も人口減少・高齢化は進む見とおしであり、利用促進に努めるほか、利用に係る達成指標を見直している。
計画目標4	▪本指標は、取組により得られた成果ではなく、実際に行った取組の数となっている。 →本来、計画で定めた事業は特段の事情がない限りすべてを実施することが前提であり、新計画では同様の指標は設けていない。

公共交通カバーエリアのイメージ図



2 「実施事業」の取組状況

実施事業	実施主体	実施内容	具体的に取組んだ事項			備考	計画目標4 実績計上	地域公共交通計画(R8～12) での取扱
			R5年度以前	R6年度実施	R7年度実施			
事業1 市内における公共交通結節点の強化	白井市 鉄道事業者 路線バス事業者 タクシー事業者	① 効率的な交通結節点の設定、利用しやすい環境の整備	R3年8月 コミュニティバスのルート・ダイヤ改正時に2駅を結節点として設定	(白井駅・西白井駅のコミュニティバス乗降場にベンチ等を設置) →事業6-①に計上		具体的な取組に至らなかった。	-	・結節点を白井駅、西白井駅、市役所に変更 ・事業内容を具体化(p.32)
		② にぎわいのある交通結節点の整備				具体的な取組に至らなかった。	-	・結節点機能の抜本的強化のため引き続き検討(p.33)
事業2 路線バスを主体とした交通サービスの維持・向上	白井市 路線バス事業者	バス交通における事業性の高い区間の運行本数、ダイヤの検討	R3年7月 商業施設への運行本数の増(ちばレインボーバス・アリオ行)	運行を継続	運行を継続	事業者による実績	-	・民営路線バスについては、幹線補助の活用、事業者・関係機関との連携により運行維持(p.29)
事業3 コミュニティバスの運行サービスの見直し	白井市 路線バス事業者 タクシー事業者	① 【優先】コミュニティバスへのバスロケーションシステム導入の検討	R6年2月 本格運用開始	運用を継続(閲覧13,853回)	運用を継続(閲覧17,046回)		○	・単体の事業としては位置付けていないが、結節点における乗継案内改善(p.32)や利用増進(p.36)の基礎インフラとして運用を継続
		② 役割に応じた運行ルートの見直し	R3年8月 ルート・ダイヤ改正実施	運行を継続	運行を継続		○	・令和10年度に改正を予定(p.26)
		③ 交通結節点における鉄道、路線バスとの乗り継ぎダイヤの調整	R3年8月 ルート・ダイヤ改正実施	運行を継続	運行を継続		○	
		④ 地区の需要に応じた小型車両の導入の検討				具体的な検討に至らなかった。	×	・コミバス車両の小型化検討は予定していないが、オンデマンド交通(p.28)及び地域が主体となる移動手段(p.34)では地区の需要や道路環境等に応じた車両を検討
		⑤ 受益者負担の見直しの検討				具体的な検討に至らなかった。	×	・令和8、9年度に検討(令和10年度改正に結果を反映)(p.30)

実施事業	実施主体	実施内容	具体的に取組んだ事項			備考	計画目標4 実績計上	地域公共交通計画(R8～12) での取扱
			R5年度以前	R6年度実施	R7年度実施			
事業4 多様な運賃制度の導入検討	白井市 鉄道事業者 路線バス事業者 商業事業者等	①【優先】企画乗車券の検討	R3年8月 コミュニティバスの無料体験乗車キャンペーンを実施(21日間)			具体的な検討に至らなかった。	×	・コミバス、オンデマンド交通については運賃見直し(p.30)と併せて検討
		② 乗り継ぎ割引運賃制度の検討				具体的な検討に至らなかった。	×	
事業5 地区に応じた適切な交通手段の継続的な調査・検討	白井市 路線バス事業者 タクシー事業者	①【優先】適切な時期を捉えた市民ニーズの把握		12～1月 公共交通に関する市民アンケートを実施	・5～6月 地域公共交通計画策定に向けた関係機関にアリングを実施 ・7～8月 地区別ワークショップを実施 ・12～1月 パブリックコメントを実施		○	・次回市民アンケートは令和11年度、コミバス及びオンデマンド交通利用者へのアンケートは毎年実施(p.41,42) ・コミバス改正、オンデマンド交通本格導入に向けての広聴活動を実施(p.26,28,30)
		② 乗合タクシーやデマンド型交通など、継続的な先進事例の調査・研究	随時 他自治体等におけるデマンド交通や先進事例の情報収集	・3月 横芝光町自動運転実証事業に係る試乗・説明会参加 ・3月 本協議会で市民団体によるグリーンスローモビリティ社会実験計画の紹介	・オンデマンド交通、地域が主体となる移動手段等を中心に先進事例の調査を継続 ・市民団体によるグリーンスローモビリティ社会実験の側面支援		○	・オンデマンド交通、地域が主体となる移動手段等の導入を計画に位置付けたほか、自動運転技術等、次期計画以降の動向を見据えたを調査を継続
事業6 利便性の高い地域公共交通の環境整備	白井市 鉄道事業者 路線バス事業者 タクシー事業者	①【優先】主要なバス停(結節点)におけるベンチ、上屋の整備		10月 白井駅南口コミュニティバス乗降場への上屋・ベンチ設置、市役所・西白井駅・千葉NT北口各乗降場へのベンチ設置	供用を継続		○	・交通結節点への上屋、ベンチ等の新設、改修を継続(p.32)
		② 市内駅におけるアクセス特急の停車、特急増便の要望	随時 鉄道事業者に要望		北総鉄道株主総会で市長からアクセス特急停車への要望に言及		○	・実現に向け、鉄道事業者との連携や働きかけを継続(p.36)
		③ 高齢者や障がい者に対応した接客サービスの向上	R2年10月 高齢者等の移動支援について、福祉部局と連携して地域ケア推進会議(ケア会議)を開催し、体系的な取組を開始	・1月 ケア会議(進捗把握) ・2月 福祉車両運転ボランティア養成講座(福祉有償運送運転者講習)開催(初)	・11月 福祉車両運転ボランティア養成講座(福祉有償運送運転者講習)開催 ・3月 ケア会議(進捗把握)		×	・計画上の事業としては、移動に支援が必要な人への多様な外出手段の確保(p.30)に移行したものの、交通機関における合理的配慮や車両・設備のUD化には、今後も市として継続的に取り組んでいく。
		④ ユニバーサルデザインタクシー車両の導入の促進	R5年度 タクシー事業者におけるUDタクシー車両数 ・白井タクシー 7台 ・エミタスタクシー白井(営) 5台	R6年度 ・白井タクシー 7台 ・エミタスタクシー白井(営) 6台	R7年度 ・白井タクシー 5台 ・エミタスタクシー白井(営) 6台	事業者による実績	- (実績計上基準の定めなし)	

実施事業	実施主体	実施内容	具体的に取組んだ事項			備考	計画目標4 実績計上	地域公共交通計画(R8～12) での取扱
			R5年度以前	R6年度実施	R7年度実施			
事業7 公共交通の利用啓発	白井市 市民 鉄道事業者 路線バス事業者 タクシー事業者	①【優先】各駅にバス交通の「路線案内版」を設置				具体的な取組に至らなかった。	×	・路線案内版に限定せず、各交通結節点における乗継案内方法の改善を検討・実施(p.32)
		②（強化）公共交通の学習内容の拡大、充実、子供向けの教室（イベント）の開催	随時 なるほど行政講座「ねえ、知ってる？ みんなのまちの公共交通」の実施	講座を継続 (R6年度申込なし)	講座を継続 (R7年度申込なし)		○	・なるほど行政講座に加え、公共交通の乗り方教室等を開催(p.36)
		③（強化）分かりやすい市内公共交通マップなどの充実	・R3年8月 コミュニティバスルート・ダイヤのGTFSデータ作成、Googleマップほか乗換案内サービスへの提供 ・R4年12月 白井市地域公共交通ブックの発行・配布	提供・配布を継続	提供・配布を継続		○	・公共交通の利用増進のための新たなPR媒体の作成、配布、配信(p.36)
		④（強化）沿線自治体等と連携した鉄道の利用促進活動の推進	R4年9月 北総線沿線地域活性化協議会の事業として沿線活性化トレインの運行開始	7～1月 R6年度運行実施	7～2月 R7年度運行実施		○	・交通事業者との連携、協働による沿線活性化イベント等の実施(例：沿線活性化トレイン、ほくそう春まつり)(p.36)
		⑤ タクシー利用案内の実施	R4年12月 地域公共交通ブックへの利用案内掲載・配布	配布を継続	配布を継続		○	・公共交通の利用増進のためのPR媒体の作成、配布、配信(p.36)に含めて実施
		⑥ 免許返納の啓発の実施	随時 市ホームページ等で自主返納制度の案内を実施	掲載を継続	掲載を継続		○	・計画上での位置付けは特になし

(○=12項目/19項目中)